

# 人の意識高め

## 09年度研究発表会

9日、2009年号館第1別館は午前中に研「大大阪の時爪紳也氏(大教授)が特別長は、「技術開発が頭に浮幅広い技術力や河道計画、渉、企業選定要だ。研究発表またはそれを対する意識が述べた。設計部門Iで滋賀県)など

きょう橋爪氏の特別講演



研究発表会の風景(丸写真は木下局長)

6課題、同部門IIで超軟弱地盤上の合理的な基礎形式と耐震設計(滋賀国道)など7課題、新技術・新工法部門で河川利用者のための増水警報システムの整備(兵庫県)など7課題、防災・保全部門で道路路面管理のためのハンドブック(近畿技術)など7課題が発表される。

## 清掃を重点

### 野崎組)ら4人表彰

事を行うと決意を新たにした。安積社長は「より一層、安全最優先の風土を定着させるよう全社一丸となって取り組んでいく」とあいさつした。また09年度の安全衛生管理基本方針として、安全のスタートラインである整理・整頓・清掃を重点に取り組むなど、さらなる災害防止



安積社長

体制の確立に努めていくと呼び掛けた。

来賓には佐々木幸子北大阪労働基準監督署長らを迎え、安全大会の重要性について語った。また山田敬一北大阪労働基準監督署課長と小田勝康枚方警察署交通課課長代理が安全講話を行い、安全表彰では野崎組の野崎茂社長ら4人が表彰された。

## の2四半期発注予定

- ▷百舌鳥梅町(581戸)
- 【屋内排水管改修】
- ▷門真三ツ島(213戸)
- 【給水塔設備改修】
- ▷招提外2団地(370戸)▷香里三井C(340戸)▷柱本(440戸)
- 【電気幹線改修その他】
- ▷石橋西池田市豊島北2丁目4番(96戸)▷井口堂外1団地(200戸)
- また、第2四半期に指名競争
- ▷茨木郡山(390戸)
- 【樹木剪定】
- ▷八尾志紀▷東大阪稲田東▷千里青山台▷千里桃山台▷新千里東▷新千里南▷高槻柱本▷高槻下田部▷門真三ツ島
- 【放流切り替え】
- ▷富田林板持(354戸)▷大東寺川(700戸)
- 【段差整備】
- ▷毛馬西(120戸)▷摂津味生(60戸)▷豊中島江(393戸)▷下新庄(90戸)▷柏原旭ヶ丘(50戸)▷柏原円明(110戸)▷原山台5丁(1,013戸)▷原山台5丁第2(490戸)▷池田伏尾台(199戸)
- 【ふれあいハウジング整備】
- ▷楠風台(1カ所)▷桃山台1丁(1カ所)
- 【車いす常用者世帯向け改善】
- ▷長吉(1戸)▷八田西町(1戸)▷槇塚台第1(2戸)
- 【浴室パネル戸改修】

## 住宅2棟など解体を

- で発注する予定の工事は次の通り。
- 【外装吹き替えその他】
- ▷諸口(82戸)
- 【塗装替え】
- ▷寝屋川池田外1住宅(456戸)
- 【屋上防水改修】
- ▷麻代台2丁(98戸)▷高槻
- ▷野木戸(219戸)▷岸和田額原(185戸)▷守口八雲北(139戸)▷枚方東牧野(192戸)▷富田林錦ヶ丘(158戸)▷吹田山田西第2(170戸)▷東大阪春宮(戸)
- 【駐車場整備】
- ▷晴美台C(98戸)
- 【高置水槽改修】
- ▷豊津(56戸)▷枚方招提(80戸)

# 建設業、安全文化への一歩

全5回

寄稿 日本シンクタンク社長 那須 顕一 ⑤

本年度の全国安全週間のスローガンは「定着させよう『安全文化』つみ取ろう職場の危険」。労働災害、公衆災害においても「事故が起こらないこと」が一番。「災害防止」が最優先事項なので、読者企業の皆さんも全国安全週間はもとより、日ごろから安全意識の向上に取り組まれていると思います。しかし現在まで、全国で「災害ゼロ」だった年はありません。したがって「災害防止」とともに、事故が起こった場合の「被災者の補償」を同時に、そして同様に準備する必要があります。

災害が起こり、「被災者の補償」の準備が十分でなかった場合、訴訟など被災者対応に「時間」がかかり、そのための費用、人件費などの経費に加え、「賠償金」という「資金」が必要になるのです。

## リスクマネジメントの基本中の基本

これは企業にとって、今後を考えて行う「設備投資」などの前向きな資金の拠出ではなく、起こってしまったことに対しての後始末、いわゆる「尻ぬぐい」な資金で、設備投資のように今後利益を生む可能性のない「後ろ向き」な資金の拠出でしかありません。

また、前向きな資金の拠出に対しては「将来の利益」を見込んで、各金融機関も融資を引き受けてくれますが、今後利益を生む可能性のない後ろ向きな資金の拠出に対しては、どの金融機関であれ融資実行には難色を示しますから、賠償金の調達には内部留保の拠出、もしくは保険以外の方法は皆無に等しいのです。

仮に融資が可能になったとしても、企業にとって賠償金を借入金で支払うことは賢明な方法ではありません。何度も書きますが、災害の賠償金は、将来に利益を生む投資ではないですし、事後の元金・金利の返済負担を考えると、きちんとした保険に加入し、経営上安全なラインで毎月費用を計上していくことがベストです。

これまでも賠償金の重みに耐え切れず倒産してしまふ企業はありました。この経済下ではなおさらのこと。企業防衛・企業永続の観点からも、全国安全週間の時期に「災害防止」とともに「被災者の補償」(＝資金の確保)を見直して下さい。それが企業におけるリスクマネジメントの「基本中の基本」なのです。

それでは皆さま、どうぞご安全に!

▷日本シンクタンクホームページ<http://www.j-thinktank.com> おわり

災害防止と被災者補償への準備